最も育てやすい宿根草の一つ。

＜植物名＞

アガパンサス
ムラサキクンシラン

水やり
乾燥には非常に強いので、控えめに水遣りをする。

置き場所
日向または半日陰で育てる。

用土肥料
痩せ地でも育つが花立ちをよくする為には、肥料を施す。

植え替え
特記事項なし。

ふやし方
株分け

冬越し
冬-5℃以下になると根は生きているが、地上部分は枯れる。

使い方　鉢植え、庭植え

学名	Agapanthus
英名	African lily
属名	アガパンツス
科名	ネギ
性状（分類）	多年草
原産地	南アフリカ
花の色	濃青白～白色
開花期	6月～7月
購入時期	
草丈	30～100 cm

ID　94
季節　夏　　JFコード　14982

冬越しと置き場所
日当りの良い場所を好むが、半日陰でも育つ。
冬-5℃以下になると地上部分は枯れる(根は生きている)。

その他の解説
痩せ地でも育つが花立ちをよくする為には、肥料を施す。秋に株分けでふやすが、あまり小さく分けないようにするのがポイント。

特徴１
園芸品種には大輪で濃紫色の‘Pacific Blue’や、同じく白色の‘Pacific White’、また中生や八重咲きタイプもある。乾燥には非常に強いので、控えめに水遣りをする。

特徴2
美しい花と草姿が魅力のアガパンサスは、乾燥に強くやせ地でも育ち、病害虫にも強い優れた宿根草。名前は、ギリシア語の「愛-agapa」と「花-anthos」を元につけられたそう。常緑と落葉があり、常緑はやや耐寒性に弱く、落葉は耐寒性に強いと言われている。